



令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 67 回放射線管理研修会) のお知らせ (1)

令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

令和 8 年度の放射線安全取扱部会年次大会は東北支部が担当します。平成 30 年に東北支部が主催した仙台大会（第 59 回大会）では、多くの方々にご参加いただきました。今大会は福島県福島市で開催いたします。昨年の大津大会に引き続き対面開催とし、交流会も行います。皆さまに満足していただける大会になるよう、実行委員会一同で準備を進めています。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

年次大会概要

- 開催日：2026 年 10 月 22 日(木), 23 日(金)
- 会 場：コラッセふくしま
福島県福島市三河南町 1-20
(福島駅西口から北へ徒歩 3 分)
- テーマ：「不易流行 ～震災から 15 年, 未来へのエール～」

参加登録の受付開始時期等詳細はホームページ (<https://www.jrias.or.jp>) でご確認ください。

参加費 (税込)	事前登録	当日登録
年次大会 一般 学生会員	7,000円 無 料	9,000円
交流会 一般 学生会員	8,000円	-

学生会員は入会にあたり年会費として 1,000 円を申し受けます（事前登録のみ）。

交流会の当日登録はありません。定員になり次第締切りとさせていただきます。

プログラム概要

今大会のメインテーマは、「不易流行 ～震災から 15 年, 未来へのエール～」としました。東北を旅した松尾芭蕉が説いた「不易流行」は、変化の中にある本質を守りつつ新たな知を取り入れる姿勢を示しています。これは放射線安全管理にも通じる理

念と考え、本大会のメインテーマとして採用しました。

東北は東日本大震災と原子力災害を通じて、この「不易」と「流行」の双方に向き合い、実践を積み重ねてきました。震災から 15 年の節目に、その経験と教訓を共有し、未来に向けた安全で有益な放射線利用のあり方を共に考える場としたいと考えています。

本大会に集結した全国の皆さまとの活発な意見交換を通じ、応援と希望を象徴する古閑裕而ゆかりの地・福島から、未来へのエールを全国に発信できる機会となることを願っています。今大会はこのテーマのもと、特別講演、シンポジウムを企画していますので、どうぞご期待ください。

ポスター発表募集

全国の様々な放射線施設で、放射線管理等の実務を担当されている方々の情報交換の場として、今回もポスター発表を募集します。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

なお、お申込みは日本アイソトープ協会のホームページ (<https://www.jrias.or.jp>) 「令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 67 回放射線管理研修会）のお知らせ」の「ポスター発表申込」からお願いいたします。お申込みいただいた内容（表題、発表責任者）は、「ポスター発表一覧」として *Isotope News* 10 月号に掲載する予定です。

○発表申込期限：8 月 3 日(月)

○要旨提出期限：8 月 31 日(月)

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術課

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

TEL 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail nenjitaikai@jrias.or.jp